

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 大槻能楽堂
公演団体名	公益財団法人 大槻能楽堂

内容
<p>能楽師数名が訪問し、子供達と交流します。</p> <p>① オープニング演奏 謡の体験で使用する曲を演奏し、子供たちの興味を引き付けます。</p> <p>② 能についてのお話 能の歴史・能の登場人物・囃子の解説にパネルを使用して、クイズ形式でレクチャーします。</p> <p>③ 囃子（はやし）のお話・体験 （小学生向け）囃子の解説では、楽器の成り立ちだけでなく、エア（口や身振りで）楽器体験。 （中学生向け）さらに、指揮者がいない能の舞台上、楽器演奏者がどのようにして、音を併せているのかを、生徒をグループにわけレクチャーし、最後に合奏（合唱）することで、囃子方のコミュニケーションの取り方を学んでもらいます。（ドラムセットをシンバル・バスドラム・スネアドラム等それぞれにわけて練習し、最後に音を合わせるイメージです）</p> <p>④ 謡（うたい）体験 能楽の基本となる謡を体験。 開催校の校歌にフシをつけ謡にアレンジしたものに挑戦。謡を身近なところから学んでもらいます。 （本公演ではワークショップ体験者の中から代表者を選んでもらい、舞台上に上がり、全校生徒の音頭をとってもらい、謡の合唱を開催）</p> <p>⑤ 能の小道具作成（オリジナル能面制作） 「能楽」の代表的な小道具である能面を、専用紙を用いて作成して頂きます。 作成する能面・小道具は本公演で登場する（主に主役）役に併せて作成することで、本公演への理解を深めます。 作成過程では、能楽師も生徒の輪に参加することにより、子供たちと交流も図れます。作成した小道具は、後の型の体験に使用いたします。</p>

⑥ 型の体験

完成した能面をつけ、能の動き「型」などを体験。

(休憩含む 100 分程度)

その他にWS時間によって、⑦ 質疑応答 を組み込むことが可能です。

※⑤能の小道具作成をご希望で無い学校の場合などは⑥型の体験や⑦質疑応答、③の「エア楽器」等の体験の内容を増すなど、謡・仕舞・囃子などのお稽古を中心とした内容に変更することも可能です

タイムスケジュール (標準)

40 分前 (準備)

100 分 (体験)

- | | |
|-----------------------|------|
| ① オープニング演奏 | 5 分 |
| ② 能についてのお話 | 10 分 |
| ③ 囃子のお話・体験 | 15 分 |
| ④ 謡体験 | 20 分 |
| ⑤ 能の小道具作成 (オリジナル能面制作) | 20 分 |
| ⑥ 型の体験 | 30 分 |

15 分 (片付け)

派遣者数

主指導者 1 名

補助講師 3 名

スタッフ 1 名 計 5 名

学校における事前指導

事前学習なしでも楽しめるようにプログラムを組んでいますが、子供達が当日の能楽ワークをスムーズに楽しく学べるように学校の先生に資料などを送付し、ワークショップの内容、本公演の内容を充分理解してもらう。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 大槻能楽堂
公演団体名	公益財団法人 大槻能楽堂

演目
<p>発見！能は面白い！能「紅葉狩」で能楽体験</p> <p>1部：能楽の紹介と体験(40～45分)</p> <ul style="list-style-type: none">◆はじめての能楽<ul style="list-style-type: none">▶オープニング演奏▶能楽について(DVDで能楽入門／鑑賞・スクリーン使用)◆謡ってなあに？(謡に挑戦／能楽師と共演発表会)◆エア楽器でお囃子(はやし)体験！(囃子(はやし)解説/エア楽器体験)◆鬼女の征伐に同行！ワキ方体験 <p>休憩(10分)</p> <p>2部：能楽を観てみよう(40～45分)</p> <ul style="list-style-type: none">◆生徒と共演！能でつかうあれこれ(能面・小道具・能の登場人物紹介)◆能楽を観てみよう<ul style="list-style-type: none">▶ストーリー説明(スクリーン使用)▶鬼女と出会った平維茂は、無事に鬼女を討つことができるのか！ 短縮版「紅葉狩」(もみじがり)鑑賞 <p>3部：さいごに(5分)</p> <ul style="list-style-type: none">◆公演のまとめ、事後学習の説明(紙製能面等配布) <p>(ご要望があれば)能楽ミニ講座(別途10分)</p> <ul style="list-style-type: none">◆能楽講座やバックステージツアー等(PTA、保護者、先生向け) <p>公演時間(100分程度(途中休憩10分含む、能楽ミニ講座別途</p>

派遣者数
出演者： 19名 スタッフ： 7名 合計： 26名

◆謡(うたい)ってなあに？

▶謡に挑戦／能楽師と共演発表会

全校生徒で謡(うたい)に挑戦！

普段子供達が歌う機会が多い開催校の校歌を能独特の抑揚をつけ、アレンジして謡います。(校歌は童謡等に変更可能。学校側で選択して頂きます。)

練習後は、ワークショップで練習した生徒代表者に

舞台上上がってもらい、生徒で先導してもらい、囃子方の演入り(プロの演奏で)全校生徒で発表会！

海^{うみ} 真^{まこと} い^い 山^{やま} 緑^{きよ}
 陽^ひ 理^り ま、金^{かね} の^の
 中^{なか} の^の 向^{むか} み 風^{かぜ} 奏^{そう}も
 の^の 志^{こころ} 学^{まな} は^は も^も
 に^に の^の る^る
 あ^あ 夢^{ゆめ} 意^い か^か さ^さ
 あ^あ 夢^{ゆめ} 意^い わ^わ
 よ^よ 氣^き 北^{きた} や^や 詞^{ことば}で
 わ^わ せ^せ に^に の^の か^か うなる
 れ^れ る^る 燃^も 空^{そら} に^に 2部
 ら^ら え^え

※現代人には馴染みが薄くなった謡(うたい)を、馴染みの歌挑戦することで、親しみを持ち、身近な曲が謡になるとどのよのか、また演者の立場を経験する事もでき、色々な視点で第の能楽鑑賞を観るにつながります。

◆エア楽器でお囃子(はやし)体験！(囃子(はやし)解説／エア楽器体験)

能で使用する4つの楽器(笛・小鼓・大鼓・太鼓)の音の出し方から、能では、オーケストラのように指揮者がいないのに、なぜ、舞台上で音や掛け声が合うのか？その不思議をエア楽器体験や、解説で紐ときます。

◆従者に大変身！！ワキ方体験

「紅葉狩」で活躍する平維茂、その従者の役をみんなで体験します。

戸隠山に従者と共に鹿狩りに来た平維茂(たいらのこれもち)は、鬼女と出会ってしまいます。能の中でシテとともに活躍するワキ方は、シテ役の幽霊や怨霊等様々なあの世のものとも出会います。平維茂と従者たちは、華やかな能の前半の雰囲気を作る重要な役です。

前半の華やかな場面から一転して、後半は鬼女との対決の場面となります。生徒の皆さんは従者となって能の舞台上上がります。

休憩(10分程度)

2部:能楽鑑賞(40～45分)

◆生徒と共演！能で使うあれこれ！(能面・小道具・能の登場人物紹介)

生徒の中から代表者数名を選出し、能面をつけて

- 登場人物になりきり舞台上で演者の体験してもらいます。

能楽師が小道具の紹介と解説をクイズ形式で生徒と応答、楽しく能に描かれる多種多様な人物や小道具について興味を促します。



◆能楽を観てみよう

▶ストーリー説明(スクリーン使用)

舞台写真を用いて、能楽師がストーリーを説明します。(スクリーン使用)

※子供たちに問いかけコミュニケーションをとり、想像力を引出しながらの説明です。子供たちが楽しく聞くことのできる内容になっております。

◀「紅葉狩(紅葉狩)」あらすじ▶

信濃の国・戸隠山に従者と共に鹿狩りに来た平維茂(たいらのこれもち)は、高貴な女性たち催す宴に誘われます。艶やかな舞を披露する貴女は、お酒が回り眠りに落ちた平維茂を確認し消えていきます。やがて本性を現した鬼女と平維茂は戦いになりますが、眠っている間に八幡神から受け取った刀で打ち取ります。

【鑑賞部分】

美しい紅葉の中の宴の場面から一転して、後半は鬼女との対決の場面となります。鬼と武将の対決は動きも多く、初めての生徒さんにも分かり易く、能の醍醐味を体験できます。

▶「紅葉狩」紅葉の美しい山を背景に繰り広げられる平維茂と鬼女の戦いの行方は?! 短縮版「紅葉狩(もみじがり)」鑑賞

宴で酔いしれた平維茂に
八幡神から刀が渡され、
一転して鬼女との
激しい戦いとなります。
剣の威徳は鬼女に通用するか?



・特設能舞台での上演

※特設能舞台での上演。能舞台は「張出舞台」と言い舞台が客席に突き出しており、一般的にホール等で行われる「額縁式舞台」よりも、より演者や囃子の迫力や緊迫感が客席に訴えかける様式です。

大槻能楽堂ではこの様式を重要とし、本物の能舞台を模した特設の舞台で、能の魅力をお届けします。

3部:さいごに(5分)

◆公演のまとめ、事後学習の説明(紙製能面等配布)

生徒達に再度“能”にふれる時間をもってもらうため、思い出として「家族に今日見て聞いた事を伝えて下さい」と配ります。(作り方使用方法も説明。)本来なら全校生徒に本物の能面をつける能面体験が実施できればよいのですが、時間等にも制限がある為、本物により近く製作した紙製能面を配り体験可能にしました。

実際に再度体験し、思い出し、伝えてもらう事により、この舞台鑑



賞が心に残ると考えています。紙製能面があることで、生徒達同士でも自発的にこの舞台鑑賞を思い出すきっかけ、ご家族に能楽鑑賞について話をするきっかけになり、コミュニケーションの育成にも効果的と思っております。

(ご要望があれば) **能楽ミニ講座(別途 10分)**

◆能楽講座やバックステージツアー等 (PTA、保護者、先生向け)

能楽の楽しみ方講座や案内など

※公演だけで終了というのではなく自宅に帰ったあと、家族で能楽鑑賞について話ができるようにご要望があれば開催したいと考えております。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

謡(うたい)体験

体 験: 全校生徒で校歌(もしくは童謡)の謡に挑戦。

共演(発表会): 全校生徒で練習した謡をワークショップで体験した生徒から代表が舞台上に登場し、先導して、皆で能楽師の囃子に合わせ謡います。

囃子(はやし)体験

体 験: 能楽に使用する楽器(主に鼓)をエア楽器(楽器意を持たずに)でリズムなどを体験します。

共 演: 能楽師の謡に合わせ、生徒が練習したエア楽器と合わせ、能楽師と共演。

能面体験

生徒・先生代表者が楽屋に入り能楽師から能面をつける心得を聞き 能面をつけ、小道具を持って舞台を摺り足で歩きます。シテの感覚を感じてもらいます。クラスメイトが登場することで、他の生徒さんにも、興味を持って話を聞いて頂き、3部の事後学習で思い出宿題として紙製能面をお配りすることにつながります。

ワキ方(従者)体験

能「紅葉狩」に登場するワキ方の平維茂の従者になってワキ方の型を体験します。

2部の能「紅葉狩」の中で、生徒さんは実際に装束を着て舞台に登場します。

児童生徒とのふれあい

謡体験、囃子体験、能面体験、ワキ方(従者)体験

⇒ 体験全てにおいて能楽師が指導に当たり、生徒さんたちと触れいながら体験していきます。

